



建設通信

2023年10月号
Vol.86

Qui
Technological
System
発行者

クイックス株式会社
<http://www.quix.co.jp>
東京都渋谷区宇田川町2番1号
03-5456-1511(TEL)
03-5456-1811(FAX)



測量ソフトの最新情報



日本で増える空き家問題



インボイス制度開始

3D スキャナーやドローンの登場で誰もが3次元データを扱えるようになってきました。公共事業では施工基準点などの位置情報の正確性が求められています。測量、設計、施工において高精度な3次元データをスムーズに納品されることで建設施工の生産性は飛躍的に向上するでしょう。

発行責任者 牧坂勝

10月17日リリース 測量ソフト最新情報を一部ご紹介【TREND-ONE】

○TREND-POINT との連携機能の強化

これまで TREND-POINT 側に同期できる要素は、点と線のみでした。新たに、円弧、記号、ハッチング、塗りつぶしなどや、要素の移動削除といった編集情報も同期できるようになりました。

○任意座標変換機能

法務省で公開される地図 XML の座標系を、現場プロット上の CAD 操作で公共座標系に変換できるコマンドが追加されます。

【TREND-POINT】

○SIMA 出力に対応

杭や境界確認のために作図した点・線・面を、座標・画地(閉合・開放)として出力できます。

○リモートセンシング技術の活用

リモートセンシングデータを用いて、傾斜区分図、微地形図、林相識別図、樹高分布図などの地形図を作成し、山村部における境界(筆界)の推定など、地籍調査業務に役立つ機能。

日本で増える空き家問題とは？

日本全国の空き家はこの30年間で2倍以上に増えていると言われています。その発生原因の半分以上は相続から生じており、相続する段階で遺産分割や相続登記、「家財の片づけや遺品の整理」など、問題が山積みになり空き家問題化するケースが多いようです。また、東京などの都市部には空き家になる可能性が高い高齢者の一人暮らしの家が多く、そうした理由により空き家問題は今後も増え続けていくことが予想されるため、対策が急がれています。現在、空き家問題の対策として次のようなものがあります。①空き家対策特別措置法、②空き家バンク、③相続空き家の3,000万円特別控除など。こうした対策に加えて、専門家のアドバイスが空き家問題解決には大切です。実際に土地家屋調査士、司法書士、不動産業の方には実家問題の相談、相続の相談が増加しているようです。国土交通省の「空き家・空き地バンク総合情報ページ」の情報も参考になります。

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/sosei_const_tk3_000131.html

2023年10月～インボイス制度開始～

複数税率になった消費税の納税額を事業者が計算できるように対応させるため、インボイス制度が10月から開始となります。インボイス開始に伴い、適格請求書の要件を満たしている場合には、新方式の請求書を発行します。請求書を受け取る場合にもインボイス制度の開始後は適格請求書を受領・保存しないと仕入税額控除を受けられなくなる可能性があります。確認事項として以下の点が挙げられます。

1. 記載事項の確認 (適格請求書の要件を満たしているか? 適格請求書の登録番号の確認)
 2. 金額の検算 (インボイス制度で変更された方法で税区分毎に消費税額が計算されているか、端数処理が行われているか、各項目のチェック)
 3. 請求書の保存・管理 (原則7年間の保存管理。電子保存、書面保存双方の管理が必要)
- 当面、猶予期間がもうけられていますが、対応について、今一度確認していききたいと思います。

インターネットを利用した犯罪のビジネス化

サイバー攻撃は近年、金銭的な利益を得る手段となっており、嫌がらせ目的の攻撃よりも目立ってきているようです。例えば、IPAが発表している「情報セキュリティ10大脅威2023」でも、前年までは圏外だった犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)が、組織向け脅威の第10位にランクインしました。その要因として、個人のスキルに依存せず、ツールやマルウェアを入手してサイバー攻撃に利用できるようになったためだそうです。では引き続き、企業また個人として、どのような対策が必要なのでしょうか。マルウェアなどの経路として、メールの添付ファイルや悪意あるサイトへの誘導が多いです。それで、対策の機器導入(UTM装置、メールセキュリティ)、従業員各人のITリテラシー、モラルの向上の徹底が必要です。また、クラウドサービスを利用することやWAF(Web Application Firewall)の導入も視野に入れていくことも必要だと言われています。近年には、メールの添付ファイル送付をやめて、ダウンロードサービスに切り替える企業も多くみられてきています。企業また個人として、安全なシステム環境を常に整えたいと思います。

2024年4月時間外労働の上限規制適用 助成制度活用情報
建設DX、ICT施工、BIM/CIM対応、それらは全て生産性向上、労働者の高齢化、労働力不足から来るものでした。そして2024年の時間外労働の上限規制適用は建設業界にとって喫緊の課題となっています。こうした動きに対応するための助成制度、補助金の代表的なものとしては下記が挙げられます。IT導入補助金(補助対象経費の50%, 上限150万円) 税制優遇措置(即時償却または税額10%控除) 働き方改革推進支援助成金(補助対象経費の75%, 上限830万円) また、人材確保などの支援助成金も多種あります。

https://hd.fukuicompu.co.jp/jyoseikin/index.html?gl=1*xexbpi*ga*MTQ0NDk3MDUxMy4xNjA5ODk0MTQ3*ga*7FE5S22VD5*MTY5NTg4 (助成制度活用 福井コンピュータ特設サイト)

ワンポイント アドバイス

以前のT-ONEでは一括訂正はプロパティ内で行っていましたが、Ver.5からデータ編集タブ⇒ツール内のコマンドとして利用できるようになりました。また、お気に入りの登録しておくことも出来ますので、簡単に利用できます。

一括訂正の コマンド利用

